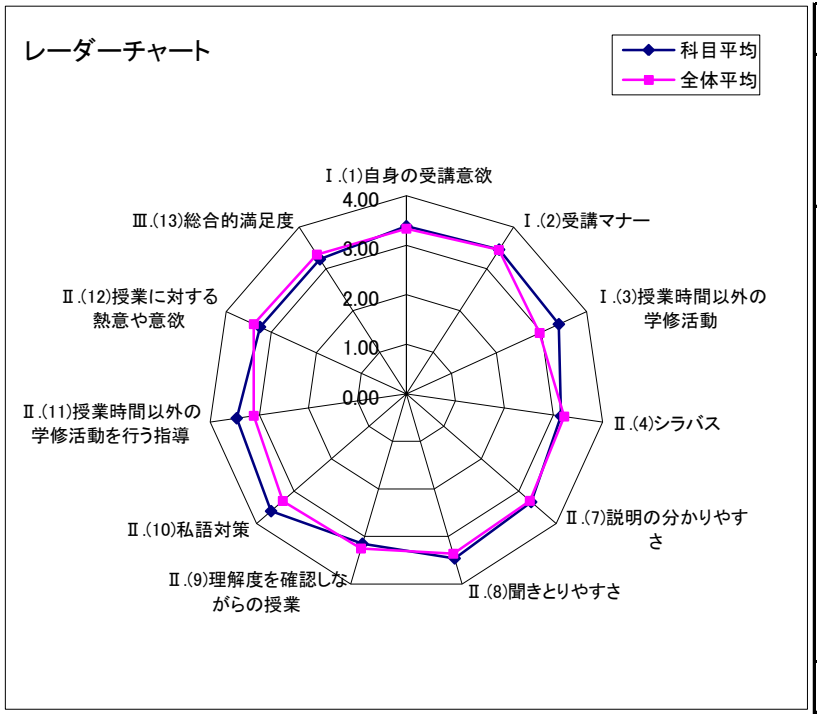
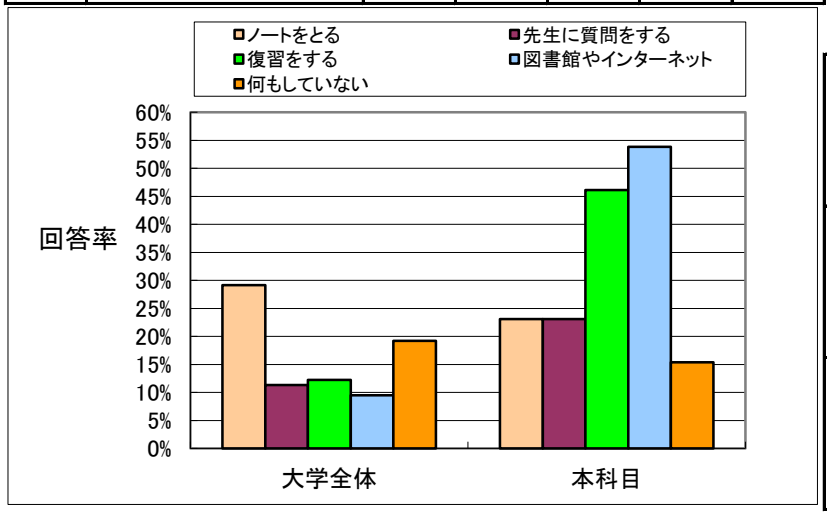
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.38	3.33
	Ⅰ.(2)	3.46	3.45
	Ⅰ.(3)	3.38	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.15	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.33	3.30
	Ⅱ.(8)	3.46	3.36
	Ⅱ.(9)	3.15	3.25
	Ⅱ.(10)	3.62	3.30
	Ⅱ.(11)	3.46	3.11
	Ⅱ.(12)	3.25	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.23	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	23.1%	23.1%	46.2%	53.8%	15.4%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.41	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.35	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.23	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	1361
科目名	プログラミング基礎演習
教員名	

①授業計画の達成度について

ほぼ、テキストに沿った形で演習を進めているが、タイピングの遅い学生やソースファイルの見間違いや打ち間違いの多い学生もいて、1回の授業での進度が想定以下の回が多かった。ただ、プログラミングの基礎事項である、変数や関数の使い方、繰り返しや条件分岐については、昨年度と同様に終えることができた。さらに、今年度は昨年度扱えなかったポインタを用いたプログラミングまで行うことができた。

受講学生のスキルの違いから、難しく思う学生と易しく思う学生がそれぞれ3分の1ぐらいずついて、難易度を適切に設定するのは難しいと感じた。

②授業の進め方について

授業の聞き取りやすさやわかりやすさは、大学全体の平均を上回る評価をいただいているが、理解度の確認は「そう思わない」学生もいて十分でない点があったようだ。

教員側から見ても、授業に関係する発言や質問などはあったが、私語はほとんどなく静穏な環境が保たれていた。

授業全体の満足度は大学全体の平均を若干下回っている。上の難易度の問題とも関係するが、スキルのある学生にとっては物足りない面があったと思われる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

全体としては、昨年度より向上している面が多い。昨年度は初めて担当した科目ということもあり、試行錯誤した点も多々あったが、今年度は余裕を持って対応できることが多かった。例えば、昨年度は全体の進行をそろえようとしてプログラミングの打ち込みを途中でやめさせたりといったことがあったが、今年度は学生それぞれの速さで進められるようにした。

奈良産業大学